

日本福祉大学 福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知 2023 年度第 1 回研修会 開催要項

1. テーマ

「社会福祉士新カリキュラム 240 時間実習に向けた課題と展望 —社会福祉学部の 60 時間実習の結果をふまえて」

2. 開催趣旨

社会福祉学部新カリキュラムにもとづく 240 時間実習が全国の養成校で順次実施されています。本学では、前年度(2023 年 2~3 月)社会福祉学部の 60 時間実習が開始され、今秋 180 時間実習を予定しているとともに、今年度から福祉経営学部(通信教育)と健康科学部においても新たなソーシャルワーク実習が始まります。

この間、福祉現場の皆様にお伝えさせていただきましたように、新カリキュラムの実習では機能の異なる 2 か所以上の実習施設・機関において、合計 240 時間以上の実習(うち 1 か所は 180 時間以上)を行うことが必要となります。

そこで、今年度のフォーラム愛知研修会のテーマは「会福祉士新カリキュラム 240 時間実習に向けた課題と展望」と題し、第 1 部(報告)では、前年度 60 時間実習を終えた社会福祉学部の経験をもとに、福祉経営学部(通信教育)や健康科学部の対応もふまえて、240 時間実習にむけた課題と展望を実習施設の皆様とともに考えます。

第 2 部(分散会)では、第 1 部の報告をふまえて、福祉現場と大学の双方から意見交換を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

3. 開催日時

2023 年 8 月 4 日(金) 13:30~16:30

4. 実施方法

Zoom による開催

5. 企画・スケジュール

時間	内容	担当者・登壇者等
13:30~13:45	開会・オリエンテーション	<司会> 田中 和彦(社会福祉実習教育研究センター 副センター長) <挨拶> 小松 理佐子(副学長) <事務説明> 事務局
13:45~15:25	第 1 部(報告) (1) 社会福祉学部の 60 時間実習をふりかえって (2) 実習施設より報告 (高齢、障害、子ども、社協)	<報告者> 川島 ゆり子(社会福祉学部教授) 高齢: 山口 勇氏(医療法人財団善常会 名古屋市南区北部いきいき支援センター) 障害: 櫻庭 幸恵氏(社会福祉法人常滑市社会福祉協議会 ワークセンターかじま(就労継続支援)) 子ども: 岡崎 将司氏(社会福祉法人椎の木福祉会 放課後等デイサービスずいこう) 社協: 和田 京子氏(社会福祉法人東浦町社会福祉協議会)
	(3) 福祉経営学部と健康科学部の新カリ実習にむけた取り組みと課題	上山崎 悦代(福祉経営学部准教授) 丹羽 啓子(健康科学部准教授)

時間	内容	担当者・登壇者等
(休憩/分散会ブレイクアウトセッションの準備)		
15:35~16:05	第2部 (分散会) <論点> ・60時間実習をめぐって ・180時間実習にむけた課題 ・福祉経営学部、健康科学部の新カリ実習	<コーディネーター (案)> 川島 ゆり子 (社会福祉学部教授) 伊藤 大介 (社会福祉学部講師) 江原 隆宜 (社会福祉学部特命講師) 岸 佑太 (社会福祉学部助教)
16:05~16:20	全体会	<司会> 木戸 利秋 (社会福祉実習教育研究センター長) <コメント> 添田 正揮 (社会福祉実習教育研究センター副センター長)
16:20~16:30	閉会	<挨拶> 保正 友子 (社会福祉学部学部長)

6. 参加申し込み方法および締め切り日

以下の方法で、日本福祉大学 福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知 2023 年度第1回研修会参加申込フォーム (Google フォーム) にアクセスいただき、必要事項をご入力ください。締め切りは、**7月21日 (金)** です。

Google フォームへのアクセス方法

①QR コードから →



②本学ホームページから

日福大実習センターで検索>社会福祉実習教育研究センター>社会連携>実習受入先との連携など
福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知>第1回研修会参加申込フォーム

<お問い合わせ先・事務局> 日本福祉大学 社会福祉実習教育研究センター事務局
 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 TEL (0569) 87-2971/FAX (0569) 87-2340
 E-mail: jsc-jimu@ml.n-fukushi.ac.jp